第16回軽米町議会定例会令和7年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会

令和 7年 6月 9日 (月)

午前10時00分 開 会

議 事 日 程

- 議案第 1号 軽米町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例
- 議案第 2号 令和7年度軽米町一般会計補正予算 (第1号)
- 議案第 3号 令和7年度軽米町水道事業会計補正予算 (第1号)
- 議案第 4号 令和7年度軽米町下水道事業会計補正予算 (第1号)
- 議案第 5号 情報通信施設放送設備更新工事 (第2期) の請負契約の締結に関し議決を求めることについて
- 議案第 6号 財産の取得に関し議決を求めることについて
- 議案第 7号 財産の取得に関し議決を求めることについて
- 議案第 8号 令和7年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)

○出席委員（10名）

1番	田中祐典君	2番	甲斐鉦康君
3番	上山誠君	4番	西舘徳松君
5番	江刺家静子君	6番	中村正志君
7番	田村せつ君	8番	茶屋隆君
10番	細谷地多門君	11番	本田秀一君

議長 松浦満雄君（同席）

○欠席委員（1名）

9番 大村 税 君

○地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

町 長	山本賢一君
副 町 長	江刺家雅弘君
総 務 課 長	日山一則君
政策推進課長	野中孝博君
政策推進課主幹	鶴飼義信君
会計管理者兼税務会計課長	寺地隆之君
税務会計課主幹	於本博之君
町民生活課長	輪達ひろか君
健康福祉課長	竹澤泰司君
健康福祉課主幹	日向安子君
産業振興課長	輪達隆志君
地域整備課長	神久保恵蔵君
水道事業所長	神久保恵蔵君
教育委員会教育長	小林昌治君
教育委員会事務局教育次長	古舘寿徳君
選挙管理委員会事務局長	日山一則君
農業委員会事務局長	輪達隆志君
監 査 委 員	西山隆介君
監査委員事務局長	関向孝行君

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議 会 事 務 局 長	関 向 孝 行 君
-------------	-----------

議 会 事 務 局 主 任
議 会 事 務 局 主 事 補

竹 林 亜 里 君
向 屋 敷 苺 君

◎開会及び開議の宣告

○委員長（田村せつ君） それでは、ただいまから令和7年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会を開会します。

皆様の慎重な審議をお願いいたします。

ただいまの出席委員は10人であります。定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

なお、欠席者は大村委員です。

（午前10時00分）

○委員長（田村せつ君） 議案審議ですけれども、本特別委員会に付託されました議案は、議案第1号から議案第8号までの8件です。

審議内容の進め方についてお諮りいたします。議案第1号から議案第8号までの提案説明は本会議で終了しておりますので、本委員会では議案番号順に議案1件ごとに審議をし、議案8件の審査終了後に全体的な総括質疑を行い、執行者側の退席を求め、退席後に討論、採決することにしたいと思っております。このような進め方でよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） ありがとうございます。

◎議案第1号の審査

○委員長（田村せつ君） それでは、議案第1号を議題とします。

提案理由の補足説明があれば、お願いいたします。

町民生活課長、輪達ひろか君。

○町民生活課長（輪達ひろか君） 本会議場で説明いたしました。特に補足はございません。

○委員長（田村せつ君） 補足説明なしということですか。

皆さん、質疑何かありませんか。

江刺家委員。

○5番（江刺家静子君） 精神障がい者の方々が今度医療費の対象になるということなのですが、対象になる方は何名ぐらいいらっしゃいますか。

○委員長（田村せつ君） 町民生活課長、輪達ひろか君。

○町民生活課長（輪達ひろか君） お答えいたします。

4月時点ですけれども、今回該当になる方、24名となります。

以上です。

○委員長（田村せつ君） あとありませんか。

江刺家委員。

○5番（江刺家静子君） これまで乳幼児、妊産婦とか、医療費、県外の病院に行った場合は、後で本人が申請をして償還払いという形だったと思うのですが、その方式は今度対象になる方も変わっていないですか。

○委員長（田村せつ君） 町民生活課長、輪達ひろか君。

○町民生活課長（輪達ひろか君） お答えいたします。

これまでの重度心身の医療費給付の対象者の方と手続は変わりございません。

以上です。

○委員長（田村せつ君） 江刺家委員。

○5番（江刺家静子君） 軽米町が県境にあるものですから、子供たちとか、結構八戸市の病院にかかる人も多いのですが、結局忙しくて、申請しないでいるうちに償還払いをする時期が過ぎてしまうということでした。もしかしたら県南とか秋田県寄りの人たちも、そういう償還払いの方式かと思うのですが、八戸市の医師会とか青森県の医師会と提携して現物給付というふうなものに進んでいくというのはできないのでしょうか。

○委員長（田村せつ君） 町民生活課長、輪達ひろか君。

○町民生活課長（輪達ひろか君） こちらは、今後の検討課題だと思っております。よろしくをお願いします。

○委員長（田村せつ君） よろしいですか。あとございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） ないようですので、次に移ります。

◎議案第2号の審査

○委員長（田村せつ君） それでは、議案第2号を議題とします。

議案第2号は、歳入と歳出を分けて、歳入は一括して総務課から、歳出は款ごとに各担当課から説明を求め、続けて質疑を受ける形で進めたいと思いますけれども、このような進め方でよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） それでは、歳入の提案理由の説明を求めます。

総務課長、日山一則君。

○総務課長（日山一則君） おはようございます。それでは、議案第2号、歳入予算について概要説明を申し上げます。

予算書のほうは、6ページを御覧いただきたいと思います。それでは、よろしいでしょうか。10款地方特例交付金、2項新型コロナウイルス感染症対策地方税減

収補填特別交付金でございますが、これは生産性革命の実現に向けた固定資産税の特例措置の拡充等に伴う減収分を補填するもので、全額国費で対応されます。本年度の固定資産税償却資産の減収見込み相当額でございます2,939万6,000円について国費で賄われるということから、予算計上したものでございます。

次に、15款国庫支出金、2項国庫補助金でございますが、4目の土木費国庫補助金、こちらは道路メンテナンス事業費補助金でございますが、国の内示が減額で示されまして1,958万8,000円を減額するものでございます。

次に、19款繰入金でございます。1目の財政調整基金繰入金につきましては、今回補正予算編成に当たりまして歳入予算が増額となりましたことから、2,164万3,000円を減額し、予算調整するものでございます。

同じく繰入金の9目企業版ふるさと納税基金繰入金につきましては、若者定住団地用地取得ほか、基本構想策定業務に係る経費に充当するため、新たに2,355万円を計上したものでございます。

次に、7ページを御覧いただきたいと思えます。22款町債でございます。4目の農林水産業債は、雪谷川ダムフォリストパーク・軽米のメモリアルブリッジ改修事業の財源として、公共施設等適正管理推進事業債を予定しておりましたが、起債充当率が90%でございまして、過疎対策事業債は100%充当ということから、起債申請の際に過疎の申請が可能であるということから、今回充当率10%引上げ分の490万円を増額して過疎対策事業債として事業を進めるということから、今回補正するものでございます。

また、次の6目土木債でございますが、こちらは先ほど土木費国庫補助金の道路メンテナンス事業費補助金の内示額減と示されたことから、減額となった部分、過疎対策事業債、起債のほうで対応するということとし、1,950万円を増額するという形で今回補正予算を調整しております。

以上、歳入補正予算の内容についての説明を終わります。

○委員長（田村せつ君） 説明が終わりました。

質疑ありませんか。

江刺家委員。

○5番（江刺家静子君） すみません、企業版ふるさと納税なのですが、これ企業の名前は公表できないということでしたか。ちょっとお伺いしたいです。

○委員長（田村せつ君） 総務課長、日山一則君。

○総務課長（日山一則君） こちらにつきましては、寄附金の予算のときにも説明申し上げましたとおり、事業者様からの希望で公表は控えてほしいということでもございましたので、そのような形としております。一部の企業の方は、オーケーということでもございましたが、全部ではないのですが、公表は一部に限らせていただくという

ことです。

○委員長（田村せつ君） 江刺家委員。

○5番（江刺家静子君） ということは、1社ということではなくて、1社ですかと聞くのもあれですけども、会社の名前、1社ということではないのですか。基金の中からどの会社というわけでもなくて、1社ではなくて、基金総額の中からこの分を取り崩すということ。

○委員長（田村せつ君） 総務課長、日山一則君。

○総務課長（日山一則君） 公表する、どのということではなくて、企業様から寄附いただいたものが、基金創設の際にもご説明申し上げましたが、当該年度の支出ができないという部分もございましたので、基金を創設させていただいて、そちらに積み上げたものを今回一部活用させていただくというような内容でございます。

○委員長（田村せつ君） 江刺家委員。

○5番（江刺家静子君） すみません、もう一つお伺いします。

道路メンテナンス事業費補助金の国庫補助金が減って、町債のほうの橋りょう整備事業債、これは何でここが減ったのでしょうか。どういう理由で切られたというか、分かりますか。

○委員長（田村せつ君） 総務課長、日山一則君。

○総務課長（日山一則君） 国庫補助金でございますが、全国で当然要望、申請しておるものでございます。当町でも申請しておりますが、全国的に枠配分、補助金を配分する際の優先順位、あるいは優先順位がイコール緊急度の高い事業からというふうな形で配分してまいります。そういった中で、その部分が優先順位は1番目ではないという部分もあって、減額調整、当初の要望よりは、見込んでおったものより少なくなったという形で、今回減額となったものでございます。

○委員長（田村せつ君） あと質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 質疑ないようですので、次に移ります。

歳出に入ります。2款総務費について、説明をお願いいたします。

政策推進課主幹、鶴飼義信君。

○政策推進課主幹（鶴飼義信君） それでは、歳出のほうを説明させていただきます。

まず、2款総務費、2項企画費、1目企画費、18節負担金、補助及び交付金6万6,000円となります。こちらは、移住イベント出展負担金ということで計上させていただきました。こちらは、二戸地区雇用開発協会より今度の9月に東京都で行われるふるさと回帰フェアのほうに出展要請がございまして、二戸管内合同で出店するというので、その負担金についてそれぞれ負担し合うということで計上させていただきましたものであります。

以上です。

○委員長（田村せつ君） 説明が終わりました。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 質疑なしと見て、次に移ります。

3 款民生費について、提案説明をお願いいたします。

健康福祉課長、竹澤泰司君。

○健康福祉課長（竹澤泰司君） 3 款民生費、1 項社会福祉費、3 目老人福祉費でございます。4 2 万 2, 0 0 0 円、こちらの内容でございますが、こちらは二戸地区広域行政事務組合の負担金、介護保険分でございます。主な内容としましては、人事異動による人件費等によるものでございます。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） 町民生活課長、輪達ひろか君。

○町民生活課長（輪達ひろか君） 3 款民生費、1 項社会福祉費、5 目障害者福祉費、1 2 節委託料 6 2 万 4, 0 0 0 円です。こちらは、議案第 1 号に関連するもので、医療費給付システム改修業務委託料です。医療費を助成対象、追加されるということで、システム改修を行うものでございます。

以上です。

○委員長（田村せつ君） 説明が終わりました。

質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 質疑ないようですので、次に移ります。

4 款衛生費、4 款 1 項、2 項、一緒をお願いいたします。

健康福祉課長、竹澤泰司君。

○健康福祉課長（竹澤泰司君） 4 款衛生費、1 項保健衛生費、3 目予防費につきましてご説明いたします。

こちらは、今年度から高齢者帯状疱疹予防接種が定期接種化されましたことにより、必要な経費を計上したものでございます。対象者につきましては、年度内に 6 5 歳になる方、また 6 0 歳から 6 4 歳のヒト免疫不全ウイルスにより重度の障がいがある方、また 5 年間の経過措置につきまして 7 0 歳から 1 0 0 歳までの 5 歳刻みの年齢の方、7 0 歳、7 5 歳、8 0 歳、8 5 歳で 1 0 0 歳まででございます。あと、今年度につきましては、1 0 0 歳以上の方が全て対象となります。接種料金でございます。医療機関により多少異なりますが、おおむね生ワクチンの場合は 8, 0 0 0 円、1 回、組換えワクチンの場合は 2 万 2, 0 0 0 円を 2 回接種となります。町の助成につきましては、いずれも半額程度を予定しております。生ワクチンであれ

ば4, 000円、組換えワクチンのほうは1万円を計上しております。

続きまして、健康ふれあいセンター運営費についてご説明いたします。こちらにつきましても、健康ふれあいセンターは県立軽米病院と隣接しており、水道、ガス等の設備を共有しております。このたび、設備管理のための量水器のメーター3台、ガスメーター2台につきまして有効期限を迎えますことから、更新に係る経費を計上しております。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） では、続けて2項、衛生費。

町民生活課長、輪達ひろか君。

○町民生活課長（輪達ひろか君） 4款衛生費、2項清掃費、2目塵芥処理費並びに3目し尿処理費、それぞれ負担金85万8,000円と8万5,000円です。先ほどの老人福祉費と同様の理由によりまして、二戸地区広域行政事務組合負担金の増によりお願いするものでございます。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） 提案理由の説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑ありませんか。

中村委員。

○6番（中村正志君） 先ほど説明いただきましたけれども、コロナの関係だったと思うのだけれども、早口でちょっと理解し難い部分があったので、もう少し詳しく、1回幾らとかなんとかというのをもう一回お願いしたい。

○委員長（田村せつ君） 健康福祉課長、竹澤泰司君。

○健康福祉課長（竹澤泰司君） 先ほど説明した带状疱疹ワクチンの予防接種でございます。こちらにつきまして、説明したほうがよろしいですか。

○6番（中村正志君） では、带状疱疹ワクチンの説明をお願いします。

○健康福祉課長（竹澤泰司君） こちらの予防接種につきましては、生ワクチンを1回接種するものと組換えワクチンを2回接種が必要となるもの、2つを選択できることになっております。生ワクチンに対しましては8,000円程度を1回、組換えワクチンにつきましては1回2万2,000円程度を2回接種することとなります。町の助成としましては、生ワクチン8,000円に対して半額の4,000円、組換えワクチンに対して1回につきまして1万円といたく、今回補正予算に計上したものでございます。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） よろしいですか。

あとございませんか。

江刺家委員。

- 5番（江刺家静子君） 「広報かるまい」お知らせ版にも載っていたのですけれども、こちらには金額とかはなくて、何回接種するとか、そういうこともなかったもので、議会の最終日はまだ先なので、金額とか対象年齢が入った資料を作っていただければと思います。
- また、今おっしゃった組換えワクチン2万2,000円が2回となれば4万4,000円なのですけれども、何か聞くとところによると半額だけではなくて、またさらにプラスして助成するというところもあるのですが、軽米町の場合は半額というか、2万2,000円の方が2回やると幾ら助成になるのですか。
- 委員長（田村せつ君） 健康福祉課長、竹澤泰司君。
- 健康福祉課長（竹澤泰司君） 先ほどもご説明いたしましたが、1回に対して1万円助成させていただくということですので、2回であれば2万円の助成と今回見込んでおります。
- 委員長（田村せつ君） 江刺家委員。
- 5番（江刺家静子君） ありがとうございます。接種できる病院は、軽米町内の小野寺クリニックとかむらかみ医院でもできますか。
- 委員長（田村せつ君） 健康福祉課長、竹澤泰司君。
- 健康福祉課長（竹澤泰司君） すみません、ただいま確認しておるのは、軽米病院だけとなっておりますので、今後ちょっと医師会のほうに確認させていただきたいと思います。
- 委員長（田村せつ君） あとございませんか。
- 中村委員。
- 6番（中村正志君） 予算の、この予防接種費用助成金20万円ですけれども、20万円というのは2万円に対して1万円補助とする補助分という考え方であれば、例えば1万円補助すると20人分の予算という考え方ですか。
- 委員長（田村せつ君） 健康福祉課長、竹澤泰司君。
- 健康福祉課長（竹澤泰司君） こちらの20万円につきましては、扶助費ということでございますので、管外の方を対象とした人数を20名と見込んでおります。二戸医師会以外の方です。八戸市とか。
- 6番（中村正志君） 接種された人に行くのではなくて。
- 健康福祉課長（竹澤泰司君） 接種した方が申請いただいて、これからお支払いするという、償還払いさせていただくものになります。町内というか、管内の医療機関につきましては、616万円、委託料で予算を計上させていただいています。
- 6番（中村正志君） 医療機関に払う委託料でないの。
- 健康福祉課長（竹澤泰司君） 直接お支払いする経費となります、医療機関のほうに。
- 委員長（田村せつ君） あとありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） ないようですので、次に移ります。

8 款土木費、説明お願いいたします。先に説明をしてから資料要求の説明に入ります。

地域整備課長、神久保恵蔵君。

○地域整備課長（神久保恵蔵君） それでは、8 款土木費、5 項住宅費、2 目住宅建設費について説明します。

今回、増額 2, 3 5 5 万円、内訳として 1 2 節委託料 1, 4 3 0 万円、これは若者住宅団地基本構想策定業務委託料です。1 6 節公有財産購入費 9 2 5 万円、これは若者定住団地用地購入費になります。詳細については、資料要求ありますので、そちらで説明したいと思います。

以上です。

○委員長（田村せつ君） では、資料説明で、政策推進課主幹、鶴飼義信君。

○政策推進課主幹（鶴飼義信君） それでは、資料要求のございました若者定住促進プロジェクトに係る資料、資料ナンバー 1 のほうの説明をさせていただきたいと思えます。

それでは、まず 1 番ということで、若者定住促進プロジェクトについて、こちらのメンバー構成等について記載してございます。議長に政策推進課長、副議長、地域整備課長ということで、そのほか各課の係長等がメンバー、構成員となってございます。

次に、経過につきましてですけれども、令和 6 年度からプロジェクトのほうは立ち上げてございます。第 1 回目を 7 月 2 5 日に開催いたしまして、プロジェクトの趣旨等の説明をしながら、現状の課題等について共有したところでございます。そのほか、定住促進関連の支援、助成制度についてどういったものがあるかということで意見集約等を行ったところでございます。出された主な意見としましては、町民あるいは住民等のそういったニーズ等の調査が必要ではないかということで意見が出たところでございます。

第 2 回の会議につきましては、8 月 2 9 日に開催いたしました。この中では、遊休地となっている町有地の活用について議論したところでございます。そのほか、引き続き定住促進関連の既存施策等の拡充等、今後できないかという部分を情報共有したところでございます。意見等については、施策について拡充あるいは見直し等も含めて、令和 7 年度、令和 8 年度に向けて考えていくということで意見等を集約したところになります。

第 3 回につきましては、今年度の 5 月 2 8 日に開催しております。その間には、米印にございますけれども、町民意識調査、若者会議での意見、あとは視察等を実

施したところでございます。第3回の5月28日につきましては、住宅施策、具体的な施策についての意見交換をしたところでございます。そのほか、西和賀町の視察の状況について、情報共有するというところで行ったところでございます。意見につきましては、記載のとおり、軽米町に住んでもらうための施策としてはどういったものが考えられるか、あとはもうちょっと新たな施策等の意見を出し合ったところでございます。あとは、今後若者住宅を建設していくに当たって、どういった建物、間取り等が好ましいか、そういった部分の意見をいただいたところでございます。

もう一点、新町地区を候補とした経緯ということで、2番のほうにまとめさせていただきます。町有の遊休地を活用した若者定住促進施策を検討する中で、旧軽米高校寄宿舎の解体が進んでおりました。令和6年度に解体が終了してございます。あわせて、県有地の取得も行ってきたところでございまして、新町地区の、大きく3か所ございますけれども、新町住宅跡地、高校寄宿舎、下新町住宅跡地、そういった部分の活用が見込めることとなったということで、若者定住の団地の候補地として位置づけが可能かどうか、今回基本構想等の策定に係る予算を計上して具体的に今後検討していくということとしたところでございます。

今後は、プロジェクトのほうからはこういった基本構想に対する意見等をいただいて、具体的な事業の推進を図っていくということで予定しているところでございます。

以上で資料説明とさせていただきます。

○委員長（田村せつ君） 説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑ありませんか。

中村委員。

○6番（中村正志君） この資料要求したというのは、どういうことから要求したかといいますと、まずいづれ若者定住促進住宅の建設については、当初予算においても萩田地区の旧青少年ホーム跡地を活用するというふうな考え方を示されておりました。大いに結構なことであるということで、進んでほしいなとは思っていましたが、それが2か月もたたないうちに新しく新町地区の土地も購入するとか、そこに基本構想を立てるというふうなことで、それとどのような経緯でこの話が出てきたのかなと思ったところ、政務報告の中では、なおかつ読むと、若者定住促進プロジェクトの中から意見が出て、意見を尊重した上で、そういう新しい若い人たちからの意見が、新町地区にもそういうふうな候補地としてやるべきではないのかという意見が強く出されて、それを町長が納得した上で、これが新しく出たのかなと私は予想したのです。経過説明を聞くと、それはなかったような気がしたのです。というのは、第3回の会議は議会の直前でやっているようなので、何か私とあれがちょ

つと違うなと思っていましたけれども、というのはそういう若者定住促進プロジェクトを立ち上げてやっているのであれば、その意見等をそういう事業に、施策に生かすということは非常にいいことだなというふうに思います。意見を聞いてです。そのために、そういうふうなプロジェクト等をやっているでしょうから。であれば納得したのですけれども、今の話聞いていると、何かいまいち説得力がないなというふうに感じるのですけれども、あともう一つは、当初予算で旧青少年ホーム跡地だけの話を議会にしている中で、いきなり今度新たに新町地区にもそういうふうな候補地として進めるよという予算を計上する。何かもう少し前段階において、若干こういうふうに進展していきたいのだよというふうな前説明といたしますか、事前説明が我々にもあれば、今度、ではそういうふうなことで予算つけるのだなというふうなことで納得しやすいのですけれども、いきなりだったので、私どういふふうないきさつでこうなったのかがちょっといまいち理解し難かったということで、この資料を要求したわけですが、その辺はただ町長のトップダウンだけで新しく新町が候補になったのかなというふうに、今の説明を聞くと、そういうふうに取り取るのですけれども、その辺はどういうことなのか、ちょっとお伺いしたいです。

○委員長（田村せつ君） 政策推進課長、野中孝博君。

○政策推進課長（野中孝博君） おはようございます。ただいまのご質問にお答えいたします。

まず、若者住宅、定住促進団地を進めるに当たりまして、町内中心部の町の遊休地については様々プロジェクト、またそれ以外でも検討を進めてきてございました。その中で、事前の説明がちょっと足りなかったところはおわび申し上げますけれども、住宅のニーズ、また要望としましては賃貸というようなお話もあったりとか、中には自分で建てたいというふうなニーズ等もございますことから、まずは先行して対応できる、旧青少年ホームのほうも解体したということで、萩田地区については進めて、当初予算に計上したというところでございます。

また、新町地区につきましては、年度途中で県の寄宿舍、長年町の土地のほうに寄宿舍が建っていたわけですが、それを令和6年度中に解体して町のほうに戻すというふうな方針が途中で出たということ、また高校の寮が解体された場合に、使っていない旧新町住宅と併せますとまとまった土地となって、様々な利活用が可能になるというふうに考えまして、周辺の土地等を調査しまして、その中に県有地も一部あったということですので、購入手続のほうを進めて、手続といたしますか、相談のほうを進めてまいったところです。それが、県のほうと最終的にお支払いをする段階になったのが今年の3月ということでした。そういったところもございまして、まだ事前にちょっと、前にご説明できるようなことがなかったことについてはおわび申し上げます。

そういったところで、今回はそのような方向といたしますか、そういうのがまとまりましたことから、今回6月の補正で基本構想並びに土地の購入のほうについてお願いしたいと、そのように考えてございます。いずれ町の遊休地の今後の使い方すとか、そういうことを考えていく中で、現段階で活用予定がないところは町の若者定住につながるような土地として活用したいというふうなことは前から思っておったところでございますけれども、ご説明がない点についてはちょっとおわび申し上げます。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） 中村委員。

○6番（中村正志君） 別に私は、反対するわけでも何でもないのですけれども、大いに進めてほしいというふうな考えはそのとおりでございますので、ただせつかくあるプロジェクトをもっと生かすやり方をしてほしいなど。何か今構想を委託したりすると、コンサルに任せっきりになる可能性はないわけでもない。ですから、コンサルと一緒に合わせて、若い人たちとの意見をどんどんコンサルの方に、地元に住んでいる若い人たちの意見を、生の声を出して、その構想に生かしてほしいなというふうに。私ももう年ですから、私の考えとは全然違うでしょうから、というのはただ若い人たちが考えるのは、多分学校が近いとかお店が近いとか、そういうふうなのであれば、併せて町の施策として町中心部にお店がなくなってきているという現状、だからその辺の打開策も考えなければならない。住宅を造れば終わりではなく、住宅を造って若い人たちが住んでいて、それにそこを望むには周りをどのようにまた考えていかなければならないかとかというふうなのを、若い人たちからの意見を聞いた上で、政策推進課が中心になってその辺はやると思いますがけれども、そういうふうなことを含めて全体的な町づくりを進めてほしいなと思いますので、よろしくをお願いします。

以上で終わります。特に何かその辺の考えがあれば。

○委員長（田村せつ君） 副町長、江刺家雅弘君。

○副町長（江刺家雅弘君） 若者住宅の整備につきましては、今回補正で予算計上した部分については、新町だとか、そういった部分は、例えばそこに新たにまた住宅を建設というよりは、できれば分譲をして土地を買って、そこに買った方が好きな住宅を建ててもらおうというふうな部分を若干想定していました。ただ、高校の寮を壊したのですが、あそこは非常に地盤があんまりよくないようなところで、くいを打っていたということで、今くいも抜いて処分になったのですが、例えば分譲するにしても、結局あそこいっぱい住宅を建てられるか、建てられないか、その調査もしなければならない。また、解体した町営住宅の部分も、その辺の土質調査等も併せまして、例えば住宅を建設とすとなれば、どのような形で何戸ぐらい分譲

できるのか、そういった部分を調査しなければ、ただ売ってしまってからかなりの地盤改良に予算が計上になるような部分を売却、売るというのはできないので、そういった部分を調査して、では例えば建設するとなればどういった価格になるのかといった部分をまず今回調査して、今年度萩田のほうに建てる住宅につきましては、いずれこれからプロジェクト会議を用いて職員の方々からもいろいろご意見をいただいて、前からどういった住宅にすればいいのか、光熱費がゼロ円住宅がいいのか、きちっと子育てできるようなレイアウトを中心とすればいいのか、何十年たったら無償で登記すればいいのか。ただ、無償で登記となると、それに対しての国の補助金というのはなかなか厳しい。そういった中で、今例えばこういった住宅を整備するのであれば、どういった補助金を活用できるのか、そういった部分も含めながら、あとはやはりコンサルの意見もないと、ただただこちらの希望だけ押しつけても、なかなか設計上無理な部分もありますので、いずれ今度業務のほうの入札も予定しておりますので、その辺、業者が決まりましたら、若者住宅のプロジェクトにも参加していただいて、様々ないろいろな意見を出して、この辺にないような、例えばみんなで人気の出るような住宅の整備を進めたいと思っております。

繰り返しになりますけれども、先ほどの新町とかの部分は、建てられるようであれば、人気もあればそこに建物を建てるということも想定されますけれども、今現時点ですと、できれば分譲地というような形にしたいなというようなことで考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） 何か皆さん、よろしいですか。

茶屋委員。

○8番（茶屋 隆君） 今日、今副町長の話聞いて、私、上新町の町民として、本当明るい兆し、私たち町内会の総会するときにも、高校の建物もなくなったし、若者定住住宅は萩田に建つけけれども、ここも何かに使ったほうがいいのではないかとというような話も出ました。若い人たちもそんなことを言っていましたので、今経緯はどうであれ、まずそういったプロジェクトを立ち上げてやってきた結果がここにつながっていると思いますので、私とすれば、もう今育成会の会員も少なくなってきましたし、今後そういうふうなのを利用して、一極集中ではないですけども、住宅があそこだけよりも、やっぱり各町内会でも建てられるところがあれば、そういうふうにしていけば多少は変わっていくと思いますので、本当にうれしいような感じでありますので、町内の人たちにも伝えたいと思っております。まず、そういうふうなことで、よろしく進めていただきたいと思っておりますので。

○委員長（田村せつ君） 何かコメントがありましたら、政策推進課長、野中孝博君。

○政策推進課長（野中孝博君） ただいまのご意見にお答えいたします。

まず、これまでのプロジェクトで進めて、意見を集めながらやってまいったところでございますけれども、引き続きしっかり進めてまいりたいというふうに考えております。ありがとうございます。

○委員長（田村せつ君） あとよろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） なければ、次に移ります。

9 款消防費について、お願いいたします。

総務課長、日山一則君。

○総務課長（日山一則君） それでは、歳出予算、9 ページ、9 款消防費、1 項消防費、2 目非常備消防費の予算補正についてご説明申し上げます。

1 8 節負担金、補助及び交付金について、消防団員自動車運転免許取得事業補助金を新設し、1 0 0 万円の予算をお願いするものです。本事業の内容についてご説明いたします。道路交通法の一部を改正する法律が平成 2 9 年 3 月 1 2 日に施行され、新たに準中型自動車免許が創設されたことに伴い、法律施行以降に普通免許を取得した消防団員は車両重量 3 . 5 トン以上の消防車両を運転することができなくなりました。現在消防団に配置されております車両 2 7 台のうち、3 . 5 トン以上が 1 5 台、また A T 車、オートマです、オートマ専用車は 5 台となっており、A T 車配置以外の消防団では A T 限定免許だけを持っている若い方も多と思います。そういう方も運転できないといった状況となっております。このようなことから、準中型免許等の取得に要する経費を補助しまして、消防団員の緊急時の出動体制の確保、あるいは団員確保というのを図るため、本事業を新設するものでございます。

A T 普通免許取得者の準中型免許の取得費用は、近隣の自動車学校等を調査しますと、平均で約 2 0 万円かかるそうです。県内市町村でも、こういった補助事業を実施しておりますが、内容といたしましては 2 分の 1 の補助あるいは定額の補助という市町村もございます。そうなりますと、自己負担が 7 万円、1 0 万円と高額となってまいりますと、なかなか事業を利用する人が少ないというふうな形で、補助事業をつくっても利用されないといった状況があるようでございます。

そういったことを踏まえながら、当町におきましては事業効果を最大限高めるため、取得費用の全額補助対象としたい。ただ、やっぱり自動車学校にはばらつきがございますので、2 0 万円を上限とするというふうな形で制度設計いたしました。今回この補正予算におきましては、消防団員 5 名の申請を見込みまして 1 0 0 万円を計上しております。また、本事業には、特別交付税の措置が約 5 0 % を見込まれております。そういったことで、本事業の実施についてよろしく申し上げます。

以上で説明を終わります。

○委員長（田村せつ君） 説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑ありませんか。

上山委員。

- 3番（上山 誠君） 事業を、今回は5名ということですが、まずこれから先、入れていく車はオートマで、準中なくても乗れる、今入れている車両はそういう車両ですけども、ということはポンプ車がある団から先にということで考えているのでしょうか。ポンプ車両、今現在大きいポンプ車両はやっぱり準中ではなければ駄目だと思うので、そういうところから先に。

〔「更新計画」と言う者あり〕

- 3番（上山 誠君） 更新計画だけではなくて、免許の補助対象をどこから考えたものかをお伺いします。

○委員長（田村せつ君） 総務課長、日山一則君。

- 総務課長（日山一則君） 今回は、この事業を設計するに当たって、消防団員の方にアンケートを取ったようです。回答は、そんなに多くなかったのですが、準中型免許の取得を希望される方が7名ございました。また、AT限定解除2名の方が、アンケートではそういった回答ございました。また、団員名簿から若い方、平成29年の法律施行後の対象となる方、いわゆる準中型免許が必要となられる方を抽出しますと、現団員の中では約11名が想定されました。ですので、今回5名というのは、希望のあった7名とか2名、あるいはその全体でも11名という中を勘案して、何年かで何とか今現在の団員の方にはそれが賄えるような形でというような設計ですので、配置車両がどこだからというだけでなく、今回は配置の分団を前提としないで、そういった対象者の見込みから追って、あとは申請によって事業を実施していきたいというふうに考えております。

○委員長（田村せつ君） あとありませんか。

〔「休憩してもらって」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 休憩します。

午前10時50分 休憩

午前10時52分 再開

○委員長（田村せつ君） では、再開します。

あとありませんか。

田中委員。

- 1番（田中祐典君） 先ほどの7名中5名ということですが、それを選抜、もし7名申請という形になった場合の選抜の仕方というのも考えていらっしゃるんですよね。要望したら、7名ぐらいの対象者がいるということを行いましたけれども、それ全員がもし更新したいよと言った場合、予算を増やすのか、選抜して5名にするのか。

○委員長（田村せつ君） 総務課長、日山一則君。

○総務課長（日山一則君） ぜひ全員に取っていただきたいと思いますので、その際には補正予算を計上して、また皆様から審議をいただいて、極力消防団員の確保に努めてまいりたいと思います。

○委員長（田村せつ君） あとよろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） それでは、ないようですので、次に移ります。

10 款教育費、資料要求もありましたので、併せて説明をしますということ。

教育委員会事務局教育次長、古舘寿徳君。

○教育委員会事務局教育次長（古舘寿徳君） それでは、令和7年度一般会計補正予算の歳出、教育委員会事務局関連部分につきましてご説明いたします。

予算書は9ページとなります。10 款教育費、2 項小学校費、1 目学校管理費、10 節需用費の修繕料、補正額は70 万円であります。教育委員会事務局で管理しております旧笹渡小中学校の貯水槽の修繕に必要な経費となっております。旧笹渡小中学校の貯水槽は、閉校後も地域住民の方々の利用及び事業者が使用する水道水をためておくための施設であります。経年劣化により修繕が必要であると定期点検委託業者から指摘があり、修繕に係る経費を補正させていただきたいものであります。

10 ページをお願いいたします。3 項中学校費、1 目学校管理費、10 節需用費を19 万7,000 円、13 節使用料及び賃借料を68 万7,000 円、それぞれ増額をお願いするものであります。軽米中学校の音楽室の冷房に係る経費を補正させていただくものであります。こちらですけれども、議会の一般質問等でも出て、教育委員会事務局で検討してまいりましたけれども、設置に係る工事等の見積り等を業者のほうと打合せしましたところ、期間の関係でどうしても今夏は間に合わないことが判明いたしました。緊急的にスポットクーラーをリースしようとするものであります。なお、需用費につきましては、簡易的に窓を加工しなければならない部分がございますので、アルミ板やテープ等を購入する経費として見込んでおります。

続きまして、4 項社会教育費、2 目生涯学習推進費であります。宇漢米館で開催するイベントに係る開催経費を当初は委託料に計上しておりました。今回、各事業の開催について調整を進めていく中で、委託料での支出では協力者等への謝礼が支払えないことや、時間を要する場合があるなどの理由により、委託料から報償費への予算の組替えをお願いするものであります。

補正予算の説明は以上でございます。

それから、資料要求がございましたので、この場をお借りしてご説明したいと思

います。ご準備のほうをお願いします。4番と5番になります。では、資料ナンバー4、スクールガードの部分についての資料要求でございました。1ということで、今現在の人数ということですが、スクールガード、軽米小学校12名、小軽米小学校3名、晴山小学校2名の計17名の方をお願いしております。

活動状況につきましては、各小学校の通学路などで子供たちの登下校を見守っていただいていると。ただ、スクールバスを利用のお子さんたちも多いもので、スクールバスの集合場所の近辺で安全な登下校を見守っていただいているという部分も活動であります。ご本人の都合に合わせて、無理のない範囲でお願いしているという状況になっております。

また、3ということで、スクールガードへの報酬や、長年の活動に対する感謝についてですが、活動につきましては無償ボランティアとして活動をいただいておりますので、報酬等の支払いは行っておりません。ただし、活動中のけがなどに対応するため、スクールガードの皆さんにはスポーツ安全保険に加入いただいております。また、活動用のベスト及び帽子、あと横断旗というのでしょうか、その部分については教育委員会事務局のほうで準備しています。なお、退任された際には、教育委員会事務局のほうから礼状をお送りしているという状況でございます。

あと、各学校で、独自ですが、年度初めにスクールガードや、あるいは交通指導員、あるいは放課後子ども教室の安全管理人等を子供たちへ紹介の場を設けているという学校もありますし、令和6年度に関しては年度末に軽米小学校と小軽米小学校には感謝の会ということで、労をねぎらったという部分で報告を受けております。

続きまして、資料ナンバーのナンバー5、かるまい文化交流センターイベント等の関連資料ということで、一覧のほうを掲載しております。こちら一番上の箱ですが、主催・共催事業ということで、軽米町や教育委員会事務局等、公的な部分を中心となるような行事ということで載せてございます。

それから、真ん中の箱ですが、軽米町文化協会の関連事業ということで、こちら映画会を2回、それから落語公演ということで、宇漢米館のにぎわい創出という部分でのイベントになるかと思えます。あとは、町民文化祭等については、軽米町文化協会の通常の活動の中という形になろうかと思えます。

それから、一番下の箱ですが、他団体ということで、民間の方や、あるいは町内外の団体の方が利用する大きなものということで載せてございます。終わったものもありますけれども、音楽会やチャリティーショーなどが宇漢米館を会場ということで予定されております。

以上、資料の説明を終わらせていただきます。

○委員長（田村せつ君） 資料の説明が終わって、これから質疑に入るわけですが、ちょ

うど11時となりましたので、休憩に入ってよろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） それでは、10分間の休憩をします。

午前11時00分 休憩

—————
午前11時09分 再開

○委員長（田村せつ君） では、ちょっと早いですけれども、皆さんおそろいになりましたので、再開します。

質疑に入る前に、資料要求ありましたものについて説明をお願いいたします。

健康福祉課長、竹澤泰司君。

○健康福祉課長（竹澤泰司君） お手元の資料を御覧ください。带状疱疹の予防接種でございます。各年代ごとの対象者数でございます。65歳から101歳以上まで、5歳刻みで年齢のほうを記載したものでございます。トータルで今年度の対象者は、760名程度となっております。

今後の経過措置ということで、65歳の方は毎年対象になります。各5歳ごとに5年間対象になります。来年度も60歳、65歳、70歳ということで対象者になります。

〔「65歳でしょう」と言う者あり〕

○健康福祉課長（竹澤泰司君） 65歳、70歳、75歳。5年間やることによって、全年代の人が対象になるということでございます。

続きまして、ワクチンでございます。こちらの予防接種は、生ワクチンと組換えワクチン、こちらを選択することが可能となっております。生ワクチンにつきましては、接種回数は1回、組換えワクチンについては接種回数が2回必要となります。こちらの接種料金については、医療機関で差が出ることでございますが、生ワクチンで約8,000円、組換えワクチンで約2万2,000円程度というふうに伺っております。それについて、町の助成額につきましては生ワクチンで4,000円、1回です。組換えワクチンについては、1回1万円を2回、今回の予算に計上させていただきます。

以上、説明のほうを終わります。

○委員長（田村せつ君） 説明が終わりました。

何かありませんか。

細谷地委員。

○10番（細谷地多門君） 生ワクチンと組換えワクチンって、名前は違うのだけれども、どういうふうに違うのか教えてください。

○委員長（田村せつ君） 健康福祉課主幹、日向安子君。

○健康福祉課主幹（日向安子君） それでは、私のほうからワクチンの違いというところをちょっと簡単に説明をさせていただきます。

生ワクチンというのは、病原体の病原性というか、病気を起こす力を弱めて、ごく自然に帯状疱疹にかかったようにまず見せかけて免疫力をつけるというのが生ワクチンでございます。よろしいでしょうか。病原性を弱めて、自然にかかったように見せかけて免疫力をつけるのが生ワクチンです。8,000円、安くて1回で済むのが生ワクチンでございます。

そして、組換えワクチンというのが病原体を作っているたんぱく質の一部を利用して作るワクチンです。これが言い方がちょっとうまく見つけられないのですけれども、弱いということで、1回ではなく2回接種が必要だと言われておりました。病原体を構成するたんぱくで作られているのが組換えワクチンのほうで2回接種、1回につき2万2,000円を2回打つというのが組換えワクチンとなっております。

それぞれワクチンを使う病院も違うと思いますので、あとは持っているそれぞれのこれまでかかった病気を考えて、主治医と相談をしてワクチンを決めるということになると思いますので、どちらのワクチンを勧めるということは、特に私たちはできないのかなと思っておまして、2つのワクチンがあることをお伝えして、接種する病院と相談をしていただいてワクチンを決めていただくことを想定しております。

以上です。

○委員長（田村せつ君） それでは、教育費の質疑に入ります。質疑ありませんか。

中村委員。

○6番（中村正志君） 今、今回補正で、まず委託料から謝礼に変えたと、420万円ですか。私は、それがどういうことで、420万円の事業がどれなのかなということと資料要求をしたつもりだったのですけれども、みんな取りあえず宇漢米館でやるイベントをただ並べられたのだけれども、420万円に該当する事業はどれで、どれにどれぐらいかかるものなのかなということとをちょっと理解したいと思っていましたので、その辺を説明していただきます。

○委員長（田村せつ君） 教育委員会事務局教育次長、古舘寿徳君。

○教育委員会事務局教育次長（古舘寿徳君） ただいまの委員のご質問にお答えいたします。

組替えが必要ではないのを、まず最初にイベントの2つ目です。東京TAMA交響楽団演奏会、こちらにつきましてはそのまま委託料ということで進めております。理由につきましては、こちら一戸町とか九戸村とか、合同でやる事業なのですけれども、他の町村も委託料での支出のほうがいいという部分、それから入れてお

ります地域経済推進費を一戸町も利用していたのですけれども、そちらも委託料でということですので、こちらは組替えの対象外となっています。

それから、対象になっている事業としては、その3つ下になりますエフエムいわて公開録音、こちらについては組替えで謝礼のほうへ移す事業という予定になっております。こちらですけれども、予算については50万円ほどとなっております。なお、組替えのやつですけれども、まだ日程と内容が確定しておりませんでしたけれども、これの一覧に載っていないもので、古典系の芸能ということで1つ、それからできれば民謡のほうもコンサートを1つ、それからアイドルというのでしょうか、若者系のイベントを1つということで、あと3つをただいま調整中であります。ちょっと日程、内容のほうが確定しておりませんでしたので、こちらの一覧のほうには載せてございませんでした。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） 中村委員。

○6番（中村正志君） ちょっといまいち理解し難いのですけれども、というのはいずれ450万円の内訳を知りたいというだけの話なのです。別にいつどうのこうののではなく、450万円というのは、委託料から補償費にした事業は何をする事業だよと。それで、その事業に対しての報償費は幾らだよというので、450万円の算出根拠が分かればいいだけの話ですけれども。

〔「ちょっと休憩をいいですか」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 休憩します。

午前11時18分 休憩

午前11時19分 再開

○委員長（田村せつ君） 再開します。

教育委員会事務局教育次長、古舘寿徳君。

○教育委員会事務局教育次長（古舘寿徳君） すみません、確認のため、お時間いただきました。組替え用の事業として予定しているのが落語ほか、日本の古典芸能系、そちらを140万円、それから民謡のコンサートのほうで130万円、それからアイドル的なイベントということで100万円ということで予定しております。

○委員長（田村せつ君） 中村委員。

○6番（中村正志君） ということは、今しゃべった3つというのは、ここに書いていない事業ですね。そういうのが報償費になるということですか、報償費というか、謝礼として。何か逆に言えば、委託料でいいような気がするのだけれども、頼み方、頼む相手次第だと思うけれども、でもそれだけはっきりと委託料ではなく報償費ということであれば、相手がちゃんと分かっていることではないかなと思うのだけれ

ども、いかがですか。

○委員長（田村せつ君） 教育委員会事務局教育次長、古舘寿徳君。

○教育委員会事務局教育次長（古舘寿徳君） 出演交渉する際に、どうしてもプロモーターというのでしょうか、その方々に相談する際にですけれども、声をかけただけでもスケジュールを押さえるというような形での、大分2社、3社なりの見積りというのはなかなかできないという状況になっております。それよりは、その方が所属する事務所に直接という形で発注できればと思っております。そういう意味で、13節ですと、どうしても契約に関する町の財務規則等の制約というか、手続のほうで時間等取ってしまいますので、応用が利く、かつ時間的にスピーディーに事業を決定できるという部分の謝礼をお願いしたいというのが1つあります。

それから、かつイベントをやる際に、住民の方や、あるいは他の、例えば司会の方などをまた別枠で頼む際に委託料の中に含まれないもので、8節の謝礼でそういう部分を賄えられればということで、組替えをお願いしているものでございます。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） 中村委員。

○6番（中村正志君） この件についてはもういいです。分かりました。いずれまだこれから出演交渉等が行われるということだと思しますので、これから町民に喜んでもらえるようなイベント等をやっていただければと思しますので、よろしく申し上げます。

それで、スクールガードに関して、予算関係なかったのですけれども、政務報告でそういう言葉があったので。というのは、なぜこれを要求したかといいますと、いずれ私前から、スクールガードをやっていたという人が10年以上やって、ちょっともう年も年だから、その人は90歳近い人だったのですけれども、もう辞めたよと、辞めたけれども、何もないよと、お礼でもいい、何かしらあってもいいのではないかというふうなことを再三言われていたのです。ちょっとなかなか私も言いづらくて、何ともしていなかったのですけれども、というのは何か、スクールガードをやったはいいが、無償ボランティアだった。確かに無償ボランティアかもしれないけれども、やっている人は毎朝7時過ぎ、もう外に出て、子供たちが来るまで見ているというふうな、時間的には大したことはないかもしれないけれども、毎日そういうふうな業務をやっているということで、やっぱりやったことに対して自分も誇りを持っているのかなとは思っていますけれども、そういうふうなのに対していまいち何かねぎらいの言葉とか、そういうふうなのは教育委員会事務局としてちょっとないのではないかなというふうなことを感じたので、どういう状況なのかなということを含めて、資料要求させていただきました。晴山小学校は2名、晴山小学校というか、何か聞くところによると、老人クラブから募集しているようなところ

もあるというふうなことも聞いたりして、もう老人クラブがほとんどなくなっている状況で、その人たちを見つけられないというふうなこともあったり、そういうふうなことで、もう少しやり方を教育委員会事務局として考えるべきではないのかなというふうなことをちょっと感じているので、お願いしたら、やってきたという人に対して少しでもねぎらうような場をつくるとかというふうなことがあって、やりがいのあるような状況にする必要があるのではないかなというふうに思うわけです。

というのは、ほかの地区に行くと、二戸市とか八戸市とかに行くと、朝というよりは夕方なんか下校するとき、かなり多くのスクールガードみたいな人たちが同じユニフォームを着て、子供たちの交通安全をやっているような気がするのですが、そういうふうなのを見ると、軽米町はそういうのがちょっといまいち少ないような気がするのですが、その辺、現状をどのように教育委員会事務局として把握して、またこれから進めようとしているのかお伺いします。

○委員長（田村せつ君） 教育委員会事務局教育次長、古舘寿徳君。

○教育委員会事務局教育次長（古舘寿徳君） ただいまの委員のご質問にお答えいたします。

まず、感謝というか、退任の際ですけれども、昨年、今年に関しては教育委員会事務局のほうからお礼ということで、退任のお申出いただいた際には発送しておりましたが、違う部分での感謝の気持ちを表す方法がないかというのは、これから検討してまいりたいと思います。

スクールガードの考え方の部分になりますけれども、まず小軽米小学校と晴山小学校については、特にスクールバスが多いということで、それぞれ離れた地域でスクールバスの集合場所の近辺を見ていただけるという部分もございます。軽米小学校に関しては、スクールバス以外の徒歩の児童等も多いということで、人数のほうが多くはなっているのですが、考え方につきましてはただいま委員のご意見等も踏まえて、教育委員会事務局内で検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） あとありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

◎議案第3号の審査

○委員長（田村せつ君） 質疑ないようですので、これで議案第2号を終わりにして、議案第3号に入ります。

提案説明をお願いいたします。

水道事業所長、神久保恵蔵君。

○水道事業所長（神久保恵蔵君） それでは、議案第3号 令和7年度軽米町水道事業会

計補正予算（第1号）の説明に入りますが、本会議場で提案したとおりとなりますが、若干補足させていただきます。

今回補正するものは、軽米取水場非常用発電機更新工事で、これは駒木の取水場に常備している発電機で、非常時に稼働する発電機でございます。これは、平成7年度に供用開始しまして、30年余り経過しております。適宜点検、修繕、整備等を実施しておりましたが、今回の点検により不具合箇所が確認されまして、修繕に当たりまして製造の年数がかなり経過しているということで、部品の調達が困難な状況となり、今回更新するものでございます。

もう一つですが、晴高浄水場2号取水水位計更新工事で、これは早渡地区にございます晴高浄水場の取水しております井戸が2施設ございまして、そのうちの2号取水の水位計を更新するものです。これも老朽化したものを更新するものでございます。

説明は以上となります。

○委員長（田村せつ君） 説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑ありませんか。

中村委員。

○6番（中村正志君） 水道料金のことで、私は軽米町にしかいたことがないので、よく分からないのですけれども、ほかから来た人から軽米町の水道料金は高いなという声が聞こえてきました。これをどのように受け止めていいのか、軽米町が県内のほかのものと比べてどうなのかとか、全国的にどうなのか、その辺をどのように把握されていますか。

○委員長（田村せつ君） 水道事業所長、神久保恵蔵君。

○水道事業所長（神久保恵蔵君） 中村委員の質問にお答えします。

今ご指摘のあったとおり、岩手県内でも高い水準には水道料金のほうはなりません。一概に、軽米町は7つの施設、広い施設で取水してございまして、なかなか水道の製造というかに経費がかかります、地形上の問題、様々水質の問題によって。高い水準にはございますが、一般家庭の20ミリの口径で20トン、一般家庭、4人家庭で比較しますと二戸市、八戸市、ほぼ同額の料金となっております。前回3月の定例会で、一般質問のほうにもお話あったのですが、そのときに、一般家庭の1か月の料金を比較すると八戸市、二戸市とほぼ同額となっております。水準的には高いのですが、事業所のほうでも健全な水道の会計といえますか、運営をしながら安全な水質を保つためには、これぐらいの料金の設定が必要だと考えております。

以上となります。

○委員長（田村せつ君） あと質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） ないようですので、議案3号は終わります。

◎議案第4号の審査

○委員長（田村せつ君） 続いて、議案第4号 令和7年度軽米町下水道事業会計補正予算（第1号）。

引き続き、地域整備課長、神久保恵蔵君、お願いいたします。

○地域整備課長（神久保恵蔵君） 続きまして、議案第4号 令和7年度軽米町下水道事業会計補正予算（第1号）の提案理由についてご説明申し上げます。

これも同じく本会議場で提案しております内容と重複しますが、説明させていただきます。軽米浄化センターの北側に設置しております擁壁の一部が損壊したものの修繕でございます。ちょうど元屋町のほうから入っていきますと、軽米浄化センターがございます、軽米浄化センターの北側に位置する部分の一部が、L型擁壁を設置しておりましたけれども、その部分が今回3月末、4月になりまして現地調査したところ、損壊というか倒壊というか、壊れていましたので、その部分の修繕の費用となります。

説明は以上となります。

○委員長（田村せつ君） 説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） ないようですので、終わります。

◎議案第5号の審査

○委員長（田村せつ君） 次、議案第5号を議題とします。

議案の説明はありますか。

〔「ございません」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 説明はないそうですので、何か質疑ございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 質疑ないようですので、議案第5号を終わります。

◎議案第6号の審査

○委員長（田村せつ君） 次、議案第6号に入ります。

これは説明ありますか。

〔「ありません」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 議案第6号もないそうですので、皆さん、質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 質疑ないようですので、議案第6号を終わります。

◎議案第7号の審査

○委員長（田村せつ君） では、議案第7号を議題とします。

説明は。

〔「本会議場のとおりです」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） 議案第7号も説明はないそうです。

皆さん、質疑ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） では、ないようですので、議案第7号の質疑を終わります。

◎議案第8号の審査

○委員長（田村せつ君） それでは、議案第8号を議題とします。

説明を町民生活課長、輪達ひろか君。

○町民生活課長（輪達ひろか君） 議案第8号 令和7年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）です。

本会議場でご説明いたしましたとおりですが、歳出につきましては被保険者の資格異動によりまして保険税還付金に不足が生じる見込みとなりましたので、願います。

以上です。

○委員長（田村せつ君） 説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑ありませんか。大丈夫ですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） ないようですので、議案第8号を終わります。

◎総括質疑

○委員長（田村せつ君） 議案は、全部終わりましたので、総括質疑に入ります。

本件、委員会付託されました議案8件の個別質疑が全部終わりましたので、総括的な質疑に入ります。では、皆さん質疑漏れありませんか。この質疑の中で、資料要求の説明をお願いいたします。

政策推進課長、野中孝博君。

○政策推進課長（野中孝博君） ここで、資料要求のございました内容についてご説明いたします。

資料ナンバー2、音更町姉妹締結40周年記念事業の資料要求の内容でございます。応募状況というご質問内容でございましたので、（3）番、応募状況、6月6

日時点では1団体というふうになってございます。

以上、よろしくお願いいたします。

○委員長（田村せつ君） では、1枚ずつ。音更町の資料要求について、質疑ありませんか。

中村委員。

○6番（中村正志君） 今現在1団体の応募があったということですが、どのような内容のものなのか、ちょっと教えられる範囲で。

○委員長（田村せつ君） 政策推進課長、野中孝博君。

○政策推進課長（野中孝博君） お答えいたします。

1団体は、パークゴルフ協会の団体交流という状況となっております。

以上です。

○委員長（田村せつ君） あと、音更町についてありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） ないようですので、次の町民生活課の資料要求、資料ナンバー3を出してください。

町民生活課長、輪達ひろか君。

○町民生活課長（輪達ひろか君） 資料要求のありました郵便局への業務委託について説明いたします。

かねてより準備を進めておりました郵便局への事務委託につきましては、本日8時40分より委託開始式が執り行われまして、晴山、小軽米の両郵便局で取扱いが始まりました。本日既に両郵便局、お客様が見えていると伺っております。お配りしました資料には、昨年9月の全員協議会でご説明しました以降の経緯を記載しましたので、どうぞご確認をお願いします。郵便局の職員の皆様にも、開始前の局内研修や、出張所に出向いていただいて機器の操作の研修なども行っていただきました。研修中に生じた疑問点などは、随時町と郵便局双方で確認して、解決して、本日に至っております。

今後ですけれども、マイナンバーカードの更新者が増えることが予想される中、こちらの事務の委託についてもご提案をいただいております。今後の委託内容につきましても、引き続き検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（田村せつ君） 説明が終わりました。

質疑に入ります。質疑ありませんか。

江刺家委員。

○5番（江刺家静子君） 晴山、小軽米の両郵便局、この取扱いに従事するといえますか、職員の方は何名ぐらいずついらっしゃいますか。

○委員長（田村せつ君） 町民生活課長、輪達ひろか君。

○町民生活課長（輪達ひろか君） お答えいたします。

すみません、総人数をちょっと私は把握しておりませんが、こちらによって増員されたということはなく、ふだん晴山、小軽米の両郵便局で勤務されている職員で対応をしていただけるということでございます。

以上です。

○委員長（田村せつ君） あとありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） では、町民生活課の資料のほうは終わります。

あと、そのほか総合的にありませんか。質疑漏れないか。

江刺家委員。

○5番（江刺家静子君） 契約のことでちょっとお伺いします。

工事とか車両の購入とかとあるのですけれども、最低制限価格というのは、軽米町の場合は事前に公表はしていないのでしょうか。

○委員長（田村せつ君） 総務課長、日山一則君。

○総務課長（日山一則君） ただいまのご質問ですが、事前の公表はいたしておりません。

○委員長（田村せつ君） 江刺家委員。

○5番（江刺家静子君） ありがとうございます。何か事前公表しているというところもあるようでしたので、私はそのほうがいいのではないかなとちょっと思いましたので、お聞きしました。

もう一つお伺いします。いいですか。

○委員長（田村せつ君） いいです。

○5番（江刺家静子君） 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金というのは、金額が決まったかのようなことを聞いておりますが、それは臨時議会か何かで対応することになるのですか。

○委員長（田村せつ君） 総務課長、日山一則君。

○総務課長（日山一則君） 報道等にございますとおり、そういう部分はなあって、交付の予定額は内示を受けているところがございますが、今内容については検討中ございまして、いずれにしろ事業設計が整い次第、予算化する議会を持ちたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○委員長（田村せつ君） あとありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） ないようですので、これで総括も全て終了となります。

◎議案第1号から議案第8号の討論、採決

○委員長（田村せつ君） 以上で質疑を終わりました、これからまとめに入ります。

〔当局退出〕

○委員長（田村せつ君） では、まとめに入ります。

討論される方ありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） では、反対の議案もないわけですね。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） それでは、採決は全部可決されました。

皆さん、大変ご苦労さまでした。

委員長報告があるわけですが、委員長報告で何かお話ししてもらいたいことはございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○委員長（田村せつ君） それでは、これで会議を閉じます。

○6番（中村正志君） 簡易採決でいいですか。採決の仕方。採決したほうがいいのでないか。ただ反対がないだけを聞いただけだから。

○委員長（田村せつ君） 分かりました。

それでは、議案第1号から議案第8号までの議案に対して賛成の方は起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

○委員長（田村せつ君） ありがとうございます。

それで、原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○委員長（田村せつ君） それでは、これをもって特別委員会を閉会します。

（午前11時45分）